

# 實相寺花園会報 第205号

令和8年5月1日発行 発行所 臨濟宗妙心寺派 實相寺・實相寺花園会  
〒761-0450 高松市三谷町1811番地1 TEL087-889-3838 編集発行人 山本 文匡 <https://www.jissouji.net>

## 遠諱記念写経について

総会報告書の令和8年度事業計画にも記載していますが、あらためてこちらでも告知致します。先日、各ご家庭に二枚配布しました写経用紙は、妙心寺二世興祖微妙大師650年遠諱を記念しての写経用紙です。妙心寺派では予てより「百万巻写経」を推進してきましたが、今年1月時点で約九十五万巻が納経されており、百万巻の達成も目前に迫っています。是非この機会に大勢の花園会員様のご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

具体的には写経用紙一卷につき1000円の納経料が必要です。『般若心経』『微妙大師御和讃』のいずれも同額です。どちらか一枚でも結構ですし、二枚とも納経頂ければより有り難いですが、菩提寺を通しての納経ということですので、實相寺の方に写経した写経用紙と納経料を一緒に郵送、または持参して下さい。

受付締切は11月23日（月）の達磨忌当日までとします。その後、集まった写経をまとめて妙心寺の方に郵送し、納経料を振り込みますので、宜しくお願い致します。

## 第45回花園会総会の追加報告

去る4月12日（日）に開催されました花園会総会の報告書は、既に会費振込書と一緒に欠席会員にも送付させて頂きましたが、報告書には記載されていないものの、当日会議の質疑応答で議論され、出席者の賛同を得た事柄についてご報告致します。

前回の花園会報で、近年施餓鬼や達磨忌での供養料の減少や、配布しているお線香や塔婆の価格が値上がりしている旨をお知らせしましたが、それを受けて「施餓鬼・達磨忌で配られるお弁当は廃止するなど、経費の削減を考えてはどうか？」というご意見が当日参加者から出されました。

会長・住職とも「大変有難いご提案で、前向きに検討する。については秋の達磨忌からお弁当は配布しないことで宜しいか？」と答弁し、参加者にお諮りしたところ、多数の賛同を得ましたので、お弁当については今秋の達磨忌より廃止させて頂きます。なお、塔婆についても、板塔婆から経木塔婆への変更を検討中ですが、その辺はまた役員会でお諮りしてお知らせしたいと思います。

「小水（しょうすい）の魚（うお）に  
楽しみ有り」⑤

「自分よりも大切なものとの繋がり」

前回、仏の「法身・報身・応身」の  
「三身」が、私達人間の持つ「仏性・  
属性・個性」に対応していると述べま  
したが、全ての衆生が仏になることが  
出来ると考える大乘仏教から見ればむ  
しろ逆であり、そもそも人間というの  
は永遠なる普遍的生命（法身・仏性）  
が、過去の因縁によってこの世に生を  
受け（報身・属性）、それぞれの状況  
に応じて今を生きている（応身・個  
性）、と考える方がスッキリします。

こうした人間のあり方、世の理を客  
観的に受け入れることができる人こそ  
が仏であり、我見・エゴのために「ど  
うして私は人と比べて…」と受け入れ  
られない人が凡夫となるのです。

「小水の魚の楽しみ」も、自分の物  
差しで、この限りある肉体の上での毀  
誉褒貶や得失にこだわってはいは得ら  
れるはずはありません。何故ならそれ  
は無常であり無我であり、やがては尽  
きていく存在だからです。しかしなが  
ら自分を超えた、より大きな存在と繋  
がること、コミットすることによっ  
て、人は安心を得ることが出来ます。

星野富弘さんは令和6年4月に78歳で  
亡くなりましたが、24歳で中学校教師  
となり、その年6月に器械体操のクラ

ブ活動中に頸椎を損傷し、首から下が  
全く動かせなくなった方です。一度は  
絶望の淵に落ちた星野さんでしたが、  
その後、絵筆を口にくわえて絵や詩を  
書き始め、沢山の野草を描いた詩画集  
やエッセイを残された方です。

星野さんに「おだまき」という作品  
があります。おだまきはキンポウゲ科  
の紫色の花を咲かせる野草ですが、星  
野さんの「おだまき」には、その花の  
姿とともに

「いのちが一番大切だと思っていたこ  
ろ 生きるのが苦しかった

いのちより大切なものがあると知っ  
た日 生きているのが嬉しかった」とい  
う詩が書き添えられています。

私はこの作品を見たとき、「星野さ  
んは自分より大きなものと繋がったの  
だな」と感じました。星野さんを支え  
ていたのは、キリスト教の信仰だった  
ようですが、考えてみれば「宗教」と  
いうのは古来、人間を超える存在との  
接点でした。キリスト教やイスラム教  
等のアブラハム宗教は唯一神との契約  
によって天国に生まれ変わることを旨  
としますし、インドのヒンズー教はブ  
ラフマー（梵天）との合一（梵我一如）  
を旨とします。密教はその影響を大き  
く受けていますし、また浄土思想は阿  
弥陀如来を唯一神的に一向に信仰する  
ことを説きますが、禅宗はそれらの宗  
教とは随分と違うようです。